

11・12月  
真宗大谷派 長浜教区

第24組

# 広報

発行日  
2011年11月1日  
第144号  
発行責任者  
組長 紘澤成互

共に御遠忌の仏縁にお会いしましょう！



宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌讃仰音楽法要	---	11月19日~20日
宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌御正当報恩講	---	11月21日~28日
御本尊動座式	-----	11月29日

いよいよ真宗本廟（京都：東本願寺）において、毎年11月の御正当報恩講が「宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌御正当報恩講」と称し、11月21日の初逮夜から28日の結願日中まで、七昼夜にわたって厳修されます。皆様お誘い合わせてお参りくださるようご案内申し上げます。

尚、宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌讃仰音楽法要が、11月19日（土）午後2時からと、11月20日（日）午前10時から勤まります。また、11月29日（火）午前10時から、真宗本廟阿弥陀堂・御影堂にて「御本尊動座式」が開催されます。またとないご縁でございますので、是非お参りいただきたく思います。皆様のご参詣を心よりお待ちしております。

## 初めての本廟奉仕

吹田 静代(明德寺婦人部長)



10月15、16日に一泊二日で本廟奉仕に参加しました。

昨年婦人部長の役を頂き、24組婦人会より本廟奉仕の案内を頂きましたが、参加することが出来ませんでしたので、今年は是非参加したいと思っていました。昨年参加された方が多く、今回の参加は役員さんを含め8名でした。以前より『上山奉仕』という言葉は耳にしていたのですが、内容はあまり知りませんでした。お掃除などの奉仕をさせて頂くだけだと思っていましたが、参加させて頂いて、そうでないことを知りました。

もちろん、御影堂の縁を一枚一枚みんなで力を入れて拭かせて頂く奉仕はさせて頂きましたが、その他に、講義と座談の時間が各日にあり、また、結成式・帰敬式・解散式には法話がありました。親鸞聖人の教えの歴史を感じられる場所で、教えを受けてこられた人々のお話を聞き、自分に問いかけていく場が本廟奉仕なのだを教えて頂きました。日常生活に戻っても今回の経験を思い出し、答えは一生出ないかもしれませんが、一步一步足元を見ながら歩んで行きたいと思えます。



## 本廟奉仕に参加して

山岡 薫(明楽寺 門徒)

紘澤(組長)、美濃部(副組長)様をはじめ、10名は10月15日(土)から17日(月)までの三日間、真宗本廟奉仕に参加させて頂きました。そのうち2名が帰敬式(オカミソリ)を受け、法名を頂いてきました。久しぶりの団体生活では、参加者同士の意見交換を行い、とても楽しく奉仕作業をさせて頂くことが出来ました。

講義、座談の時間には、園村教導(青森県)、尺一(熊本県)、本澤(山形県)両補導の丁寧、親切な指導を受け多くのことを学ばせて頂きました。有難うございました。

真宗とは、聞くこと、遇うこと(阿弥陀様の願い)、帰する(よりどころとする)ことである、と改めて教えて頂きました。この研修により、規律正しい行動(各場所で立ち止まって手をあわせ「南無阿弥陀仏」)声を上げられるようになりまして。

御遠忌テーマ「今、いのちが あなたを 生きている」に従い、「今」を大事に心して歩んで行きたいと思っています。最後に、真宗本廟奉仕の機会があれば、施設見学を含め大いに参加されますようお勧めします。



## 新住職、新坊守のご誕生

去る、9月19に圓行寺(西柳野)において、住職継職法要が営まれ、新住職・坊守が誕生されました。心よりお祝い申し上げご紹介いたします。

このたび、柳軒山圓行寺第23代住職・坊守を継職いたしました。488年の歴史と伝統の重さを、改めて受け止めなおさせていただき、「前に生まれん者は後を導き、後に生まれん者は前を訪え、連続無窮にして、願わくは休止せざらしめんと欲す。無辺の生死海を尽くさんがためのゆえなり」という親鸞聖人が遺してくださった『顕浄土真実教行証文類』の最後の言葉の如く、圓行寺歴代住職・坊守、そして代々のご門徒に導かれ歩んでまいりたく存じます。みなさまのご指導ご鞭撻を何卒よろしくお願い申し上げます。

禿  
信敬  
新住職



里和  
新坊守



## 有意義だった声明講習会

組教化委員会寺族部会では、去る9月10日(土)午後7時より、明德寺(黒田)において、「声明講習会」を開催致しました。講師は竹中慈祥氏(米原市上多良・真廣寺)で、各寺から約40名が参加しました。この研修会は例年住職・寺族を対象としていましたが、今年度より組教化事業のより充実した取り組み(点検・見直し)が検討され、それを踏まえ門徒の方にも参加していただく企画になりました。特に若い世代の方に出席していただきたいとの願いで、組教化委員会壮年部・婦人部のスタッフと連携しながら案内を致しました。

竹中先生からは、「正信偈」草四句目下、和讃「弥陀成仏のこのかたは」次第六首引・念誦三海の平常勤行を教えていただきました。日ごろ分かったこととしてお勤めしている「正信偈」も、改めて詳細にわたっての解説や実技のご指導を受けると、随分誤解してる部分や間違っていることに気づかされ、とても有意義な研修会になり、参加者から継続した「声明講習」の開催を願う声があがりま

した。寺族部会としても次年度からできるだけそのご要望に応えられる取り組みをしたいと思っています。

尚、今年度組育成研修会として、「正信偈」の内容を学ぶべく、明年3月31日(土)午後7時より、妙覚寺(東柳野)において、古田和弘先生(九州大谷短期大学名誉学長)をお招きします。詳細については追って各寺へご案内いたしますが、門徒の方々にもご参加していただきたくご予定くださるようお願い申し上げます。

( 秦 寺族部会長)





## 別院・組・各寺の法座等のご案内

会 場		法 座 名	期 日	法 話 者
別院	長浜別院 (大通寺)	御坊さん人生講座	11月15日 (火) 午後7時	講師：友久久雄 龍谷大学教授
	五村別院 (虎 姫)	しんらん講座	11月10日 (木) 午後2時	講師：古田和弘 九短大名誉学長
一 十 四 組 関 係	圓行寺(西柳野)	坊守学習会②	11月17日 (木)	講師：高科教区駐在教導
	樹徳寺(田 居)	坊守学習会③	12月 8日 (木)	講師：高科教区駐在教導
	圓行寺(西柳野)	門徒研修会	12月 3日 (土)	教区派遣講師
	明徳寺(黒 田)	寺族協議会	12月18日 (日)	組 長
浄教寺(東阿閉)		報 恩 講	12月 2日(金)~4日(日)	宮尾 卓氏(長源寺)
覺勝寺(西阿閉)		報 恩 講	11月11日(金)~13日(日)	住 職
恩覺寺(西阿閉)		報 恩 講	11月5日(土)~6日(日)	住 職
了覺寺(熊 野)		報 恩 講	11月12日(土)~13日(日)	大村 治氏(本徳寺)
圓行寺(西柳野)		報 恩 講	11月4日(金)~6日(日)	住 職
妙覺寺(東柳野)		報 恩 講	12月2日(金)~4日(日)	三條和重氏(円徳寺)
梅龍寺(磯 野)		報 恩 講	11月5日(土)~6日(日)	住 職
猶存寺(布 施)		報 恩 講	11月18日(金)~20日(日)	住 職・若院
長照寺(唐 川)		報 恩 講	11月5日(土)~6日(日)	高岡 淳氏(唯願寺)
来入寺(千 田)		報 恩 講	11月11日(金)~13日(日)	住 職
明徳寺(黒 田)		報 恩 講	12月9日(金)~12日(月)	佐藤 義成氏(満徳寺)
樹徳寺(田 居)		報 恩 講	11月11日(金)~14日(月)	秦 信映氏(明徳寺)
誓海寺(大 音)		報 恩 講	11月11日(金)~13日(日)	住 職
西徳寺(赤 尾)		報 恩 講	11月11日(金)~13日(日)	木名瀬 勝氏
残景寺(下余呉)		報 恩 講	12月3日(金)~4日(日)	住 職
明源寺(今 市)		報 恩 講	11月12日(土)~13日(日)	伊藤賢隆氏
雙林寺(西物部)		報 恩 講	11月19日(土)~20日(日)	

### 川 野 寺

最近スポーツ報道で、「この一敗で、自力優勝の道は途絶えました。あとは、他力本願に頼るしかありません」というような話がよく聞かれます。この場合、これからいくら勝ち続けても優勝は出来ない。今度は相手が負けるのを待つしかない、という意味でしょう。このように、「他力本願」は、もっぱら他人の力をあてにする、他人任せという意味で使われています。これは大変な誤解です。親鸞聖人は「教行信証」に、「他力といふは如来の本願力なり」と明示しておられます。だから、他力とは、他人の力ではなく、仏の力、阿彌陀仏の慈悲のはたらきをいうのです。仏さまの生きとし生けるものを救わずにはおれないという強い願いはたらきが、これが、「他力本願」なのです。今月、真宗本廟(東本願寺)では、親鸞聖人の御正当報恩講が勤まります。この期に、聖人の根本の教えである「他力本願」を正しく理解し、聖人のみ教えに生きたいものです。

〈秦〉